

## 令和8年度チャレンジ・プロジェクト B. 地域理解プログラム

4月14日(火)に茨城の郷土カルチャー界のトップランナーとして幅広い分野で活躍されている、茨城県まちづくりアドバイザーの青木智也様をお迎えし、2学年でこれから地域探究に取り組むにあたっての意義と課題の見つけ方についてご講演いただきました。

今年度は、新たに制作された石岡の魅力を紹介するラップを本校にて初披露いただきました。



### 〈 生徒代表謝辞 〉

2年1組 浅川 愛佳(あさかわ まなか)さん

「地域の魅力を伝えるためには、続けて努力をしなければならない」というお言葉がとても心に残りました。魅力を伝えるための4つのお話の中の「人がやっていないことをやってみる。人がやったことのないおもしろい紹介をする」というお話は、今後、地域探究をするうえで大切にしていきたいと思えますし、大変参考になりました。

### 〈 生徒の感想 〉

・私が、印象に残っているお話は、2つあります。1つ目は、誰もやらないような事をやるという言葉です。私は、これまで日常生活の中でも新しいことに自ら挑戦しようというのが苦手でできませんでした。ですが、今回のお話を聞いて、探究活動では活かせるようにしたいなと思いました。2つ目は、ヨコ展開です。私は、ひとつの目標が達成すると満足してしまうという所があるので、いくつかの柱を立ててそれを太くしていくことを意識していきたいと思いました。

・私が地域探究に向けて気付けたことは、個人でやる事には限界があると思っていましたが、努力をすると影響力が付き1人では出来ない事も手助けしてくれて出来ないと思っていた物も出来ることがあると知りました。そのため、みんなで力を合わせて地域探究をやりたいです。

改めまして、本年度も、青木智也先生、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。